

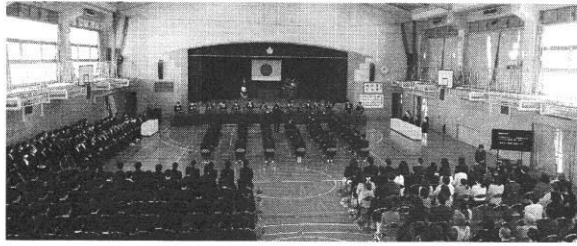
電話 <0568> 8 5 - 3 5 1 1

顧問
松田ひさ代

入学式

令和七年四月七日、春の日差しが心地よく降り注ぐ中、本校にて第三十一回の入学式が執り行われました。在校生や職員が温かく迎え、新入生の皆さんにとって、大切な新たな一歩となる式となりました。

三年生の先導で入場した新入生の皆さんは、初めは少し緊張した様子でしたが、音楽部によるハンドベルの美しい響きが会場に広がると、次第に表情も和らぎ、これから始まる学校生活への期待で胸がいっぱいになっている様子でした。



本校では、一人一人がのびのびと成長し、社会に貢献できる力を身に付けられるよう、温かく支え合いながら学べる環境を大切に行います。新入生の皆さんが充実した毎日を過ごし、それぞれの夢を大きく育てていくことを願っています。これから共に学び、共に成長していきたいと思います！

新入生歓迎会

一学期始業式後、新入生歓迎会が開かれました。有志のメンバーによるバンドが「明日はきっといい日になる」を演奏すると、会場が一気に盛り上がりました。新入生の緊張もほぐれ、笑顔が見られるようになりました。

先輩たちによる部活動紹介は、それぞれの部活動が工夫を凝らした特色ある紹介をし、新入生も楽しく話を聞くことができました。紹介を聞いて、三年間、どの部活動で頑張ろうかと少しずつ考え始めたようでした。これからの学校生活に期待が膨らむ良い歓迎会となりました。

寄宿舎より

今年度、寄宿舎は十一名の一年生を迎え、総勢三十一名でのスタートとなりました。一年生は新生活への不安がいっぱいあると思いますが、二、三年生の先輩たちも、入舎当時の困難を乗り越えてきています。寄宿舎生活を通して友情を育み、支え合いながら、信頼関係を築いてほしいと思います。二、三年生は率先して手本を示し、一年生にとって、安心できる先輩としての姿を見せてほしいと思います。集団生活を通して、責任感や協調性を育み、社会性が身に付くよう、日々指導していききたいと思います。

一年生オリエンテーション合宿

一年生は美浜自然の家でオリエンテーション合宿を行いました。出発前は少し緊張した表情も見られましたが、現地に到着すると、すぐに笑顔が広がりました。ウォークラリーでは、学級ごとに地図を手に、野間灯台を目指して歩きました。クラフト制作では、写真立てを制作しました。ボッチャ大会では、作戦を立てながら投球し、仲間と声をかけ合う姿が印象的でした。二日間とも天候に恵まれ、心に残る合宿となりました。この経験を生かし、これからの学校生活も助け合いながら歩んでいってほしいと思います。

第一回地域奉仕活動

去る五月十六日、第一回地域奉仕活動が行われました。当日は日差しもそれほど強くなく、良好な条件の下で活動することができました。この活動は、生徒たちが日々使用している通学路や公園を地域の方々と連携して清掃する活動で、創立以来取り組んでいるものです。たばこの吸い殻やお菓子の袋などで、ごみ袋の中はあつという間にいっぱいになってしまいました。この経験を通して、掃除する側の気持ちを知り、思いやりの気持ちを通して、多くの方々と信頼関係を築いていってほしいものです。

退職・転出者

退職 茂利 理恵子
退職 山本 裕子
退職 松井 圭子
退職 伏屋 政廣
退職 安藤 浩吉
退職 立畠 義章
退職 大府もちのき特別支援学校

春日台特別支援学校
一宮特別支援学校
名古屋特別支援学校
名古屋特別支援学校
春日井東高等学校

新任・転任者

教員 春日台特別支援学校より
教員 (豊橋豊学校より)

教員 (新規) 若尾 義弘
教員 (新規) 橋本 莉奈
教員 (新規) 井上 高雄
教員 (新規) 中野 美音
教員 (新規) 梅村 朱実
教員 (新規) 稲田 華
教員 (新規) 小野寺 未希
教員 (新規) 森 真澄
教員 (新規) 剣持 隆明
教員 (新規) 長田 果歩
教員 (新規) 水上 仁美

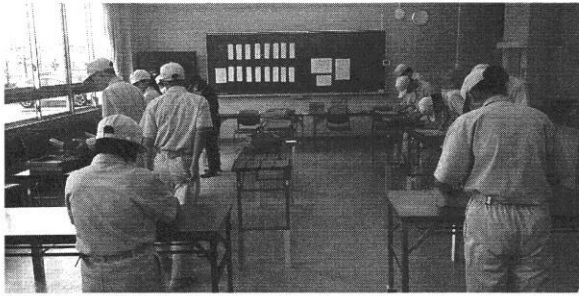


ようしくお願ひします

若尾 義弘
橋本 莉奈
井上 高雄
中野 美音
梅村 朱実
稲田 華
小野寺 未希
森 真澄
剣持 隆明
長田 果歩
水上 仁美
茂利 理恵子
山本 裕子
松井 圭子
伏屋 政廣
安藤 浩吉
立畠 義章
大府もちのき特別支援学校
春日台特別支援学校
一宮特別支援学校
名古屋特別支援学校
名古屋特別支援学校
春日井東高等学校
戸村 悠
上林 佳太
菱田のぞみ
田中 悦子

一年生校内実習

本校に入學して二か月が経ちました。新しい生活にも慣れ、少しずつできることも増えてきました。六月末には、いよいよ初めての「校内実習」が行われます。工業の授業での学びを生かし、自分の力で働く経験を積む絶好の機会です。



実習では一人一人が役割をもち、時間を意識して動いたり、製品を丁寧に扱ったりと実際の仕事に近い形で活動します。仲間と協力する力や、自らの課題解決能力も求められます。始まる前は不安も多いと思いますが、経験を重ねていくことで少しずつ自信が生まれてきます。実習のあとは「できた」という達成感や、「次はこうしたい」という前向きな思いがきつと育ちます。御家庭でも話題にしていただき、お子さんの成長を一緒に見守っていただけならと思います。

二年生体験実習を終えて

六月二日（月）から六日（金）まで前期の体験実習が行われました。この実習では、働くための態度や長時間働くための気力・体力、指示どおり正確に仕事を行うなど、働く上で大切なことを学ばせていただきました。校外に出ることで自分の課題を知り、自分の進路について考える貴重な機会となったことと思います。今回も、学校近くにある、多くの企業様に御協力いただき、実習生を受け入れていただきました。地元春日井市内の四十社を超える事業所様には、毎年、実習を受け入れていただけることに、大変感謝しております。

生徒達は、初めての校外での実習なので、不安な気持ちがありつつも、真剣に面接練習に取り組み、「意欲を見せる挨拶や自己紹介をする」「受け答えは元気の良い声で行う」「メモを活用する」などを目的に学習してきました。初めは緊張する場面も見られ、的確に返答できない生徒もいましたが、練習を繰り返して行うことで、挨拶や受け答えがスムーズにできるようになり、実践できましたようです。

実習中は、実習日誌の記入や、弁当の準備等、保護者の皆様のお力添えありがとうございました。今後の学校生活で課題などを振り返りながらさらなる成長を目指して参ります。

三年生現場実習に向けて

いよいよ六月から現場実習が始まります。会社に応じて行うため、随時実施していきます。この実習は、三年生にとって入社試験です。

事前学習では、入社までの流れや就職に必要な書類の書き方、面接の仕方等を学んでいます。現場実習がとても大切だということ、その実習に向けて普段の生活をどう送るかがさらに重要であるということを伝えていきます。家庭や学校でできていないことが、現場実習先でできるということはありません。少しずつ意欲が高まってきていると期待しています。

現場実習は、働く様子を見ていただいて採用を判断していただく、実地試験のようなものですが、仕事だけすれば良いというわけではありません。働く姿勢として意欲や技能はもちろん、特に働く人としての姿勢を見られます。いつも話しているように、素直に対応し、間違えたときや失敗したときには、「すみません」とすぐに伝えてほしいこと、そして、分からないことはそのままにせず、必ず質問してほしいこと、これらを実践してほしいと思います。就職は本人の努力だけでは成し遂げることができません。保護者の皆様の御支援、御協力も大切となりますので、よろしくお願いいたします。

進路／巡回指導より／

四月に第二十八回生が卒業・就職して二か月半が経過しました。本校では、卒業生の定着支援（アフターケア）として、職場開拓を兼ねて年三回程度の巡回指導を実施しています。また、一年目の定期定着支援以外でも、会社や卒業生本人からの要望に応じて会社を訪問したり、学校に来訪していただいて面談をしたりしていますので、その報告を一つ紹介します。

清掃職に就いて二年目を迎えるAさんは、学生時代、非常に素直で一生懸命な生徒でした。給料をもらい、どのような配分で給料を使っているかわからず使いすぎてしまったことで御家族の方に注意され、元気がなくなってしまうようでした。仕事も休みがちになってしまったようです。仕事も休みがちになってしまったようで、会社の方から相談を受けて面談に伺いました。本人から直接話を聞くと将来のビジョンや御家族の方の気持ち、貯金する意味を整理できたようで、再び仕事を頑張りたいという前向きな気持ちになりました。

悩みの種類は人それぞれですが、話すことですっきりして、考えもまとまると思います。気になることはどんどん相談して、気持ち良く学校生活や仕事に専念できるようにしてほしいと思います。

部活動紹介**バレーボール部**

今年度は新たに七名の一年生を迎えての始動となりました。夏の全国大会に向けて、今年度はより一層チームワークを大切に、仲間との絆を深め、仲間と協力する精神や、体力、技術力を高め、バレーボールを通して心身ともに成長できるように、日々の活動に取り組んでいます。保護者の皆様には、今年度も様々な場面で御協力をお願いするかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

フライングディスク部

今年度は新たに九名の一年生を迎えての始動となりました。学年関係なく、互いに技術を教え合う場面や仲間を応援する様子が見られ、部活動全体の雰囲気がいよりの明るくなりました。昨年度は「あいち障害者フライングディスク大会」で優勝をすることができましたので、今年度は「連覇」を目指して練習に励みたいと思います。

フライングディスク部は、アキユラシーが生涯スポーツとして卒業後でも継続しやすいことを念頭に、少しでも運動の楽しさや心地良さを感じられるような活動をしていきます。

陸上部

陸上部員に新たな仲間として七名の一年生が加わり、全員で十五名の部員となりました。先日、今年度の全国大会につながる予選会に出場してきました。また、九月には、愛びつく陸上競技大会、一月にはヤマサチャレンジ駅伝大会に出場します。仲間と切磋琢磨し、自己記録の更新やそれぞれの大会で入賞することを目標に、楽しみながら練習に取り組んでいきたいと思ひます。保護者の皆様には、御協力をお願いするかと存じますが、よろしく願ひいたします。

バスケットボール部

今年度は、男子は三名、女子は五名の一年生が入部し、男子は十七名、女子は十五名となり、ますます練習に熱が入っています。昨年度はFID主催大会に三回、愛びつくに一回出場し、力も付けてきました。今年度は、体育館が使えない時期がありますが、体力トレーニングなどを実施したり、近隣の体育館を借りて練習したりし、大会に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。チームワークを大切に、仲間を思いやれる生徒になつてほしいと思ひます。

サッカー部

今年度は、部員十六名で日々練習に励んでいます。基礎練習から試合形式の練習まで、互いに声をかけ合いながら工夫をして練習に取り組んでいます。協力することの大切さや相手を思いやる気持ちなどサッカーを通して学んでいくことを目標にしながら、各種大会に向け気持ちを一つにして優勝を目指して取り組んでいます。温かく見守ってくださる御家庭の支えに感謝しながら、今年度も走っていききたいと思ひておりますので、御協力の程よろしく願ひいたします。

音楽部

今年度は新入部員六名を迎え、総勢二十一名体制となりました。入学式での歓迎演奏に始まり、文化祭での発表、春日井市役所での演奏、春日井市植物園、ホテルプラザ勝川での演奏が、毎年の流れとして定着してきています。昨年度は、愛知県国際展示場にて、あいち技能五輪・アビリンピック二〇二四の合同開会式での演奏も行いました。多くの出場者や他の出場校が注目する中、輝かしい晴れ舞台となりました。卒業後の長い社会人生活を送るにあたり、これらの体験が彼らの心の支えになつてほしいものです。

美術部

今年度は、新たに四名の一年生を迎え、十四名で活動しています。一年生の最初の制作は、静物画を描いています。二年生・三年生は「障害者雇用促進ポスター原画展」に出品する作品を描いています。絵具の混色や明暗など、学んできた技術を生かして、働く自身の姿を表現し、入選を目指して制作しています。今後はタブレット端末を用いたデジタルイラストも制作予定です。文化祭では毎年作品展示を行っており、今年度は、ぜひ、美術部の作品をご覧いただけたらと思ひます。

文化教養部

文化教養部は、今年度が最後の活動となります。二年生二名、三年生六名の計八名が、日本の文化教養を高めるために、様々な活動に取り組んでいます。書の活動では、季節の言葉、自分の思いを表す言葉を選んで練習しています。文化祭や学校内で展示される大きな作品作りもしています。また、文化祭後は茶道に親しみ、わびさびの心を味わい、作法を学び、日常生活に活かせるようにしています。文化祭では、作品展示を行っておりますので、ぜひ、文化教養部の最後の力作をご覧いただけたらと思ひます。